

①学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<勉強すること>

◆「漢字の音と訓」（教科書38・39ページ）を学習しましょう。

「音」読み 中国からつたえられた当時の発音に近い読み方

「訓」読み 漢字の意味に合った日本語をあてて読む読み方

① 教科書11～39ページで学習した漢字について調べましょう。

- (1) 「音」読みしかない漢字は、いくつあるでしょうか。
- (2) 「音」読みしかない漢字を見付けて、ノートや取組シートに書きましょう。
- (3) 「訓」読みしかない漢字はいくつあるでしょうか。
- (4) 「訓」読みしかない漢字を見つけて、ノートや取組シートに書きましょう。
※音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで書いてあります。

② 39ページの①に取り組みましょう。音か訓かを線の横に書きます。
※教科書に書きこんでもいいですし、ノートや取組シートに文をうつしてから書いてもいいです。

③ 39ページの②に取り組みましょう。ノートや取組シートに書きます。

◆教科書39ページの漢字をノートに練習します。

- ① 153ページで書き順をかくにんしましょう。
- ② 出てきた漢字を使って、文や文章を書いてみましょう。
※挑戦できる人は、一つの文に音読みと訓読みの両方を入れた文にちょうせんしてみましょう。

例：「次回の学習課題では、教科書の次のページに進むのかな。」

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「今から言う言葉が、音読みか訓読みか当ててみて。」というように、クイズをして楽しんでいく方法もあります。繰り返しの中で、「音読みって固い感じがするね。」「訓読みはすぐにわかるんだけどな。」など、子どもが自分なりの覚え方や発見をしたときに、大いにほめてあげてください。
- ・お子さんが学習した様子を後から確認する場合、ノート等を見て「この文には音読み訓読み両方入っていてすごい。」「〇個も文を思いついたんだね。」など、具体的によさを見付けてほめてあげてください。

【社会】

＜勉強すること＞「わたしのまち みんなのまち」

◆「市の地図を見て」（教科書16～17ページ）や地図帳、しりょうなどを
さんこうに、札幌市について白地図にまとめましょう。

(1) 札幌市は全部で10区あります。すべての区の位置をたしかめて、
白地図のそれぞれの場所に区の名前を書きましょう。

※おうちの人に聞いたり、持っているしりょうを見たりしよう。

※10区のうち、あなたが住んでいる区に色をぬりましょう。

(2) 「まなび方コーナー」（教科書17ページ）をさんこうに、地図帳で
札幌市の位置をしらべましょう。

①地図帳の、さくいんのページ（地図帳106～114ページ）から、
「さっぽろ」をさがそう。

※さくいん（107ページ～）は、あいうえおじゅんなんだね。

②「さっぽろ」の場所をしめすページ、カタカナ、数字を読んでみよう。

※たとえば、「あさひかわ」を見てみよう。

〔69 ㊦ ③〕と書いているね。

これは、地図帳69ページのたて㊦の列、

よこ③の行の重なったはんいに

「旭川」があるという意味だよ。

	㊦	㊧	㊨	㊩
①▶				↓
②▶				↓
③▶	-	-	-	★
④▶				
⑤▶				

③札幌市の場所をしめすページを見て、位置を地図帳でたしかめましょう。

◆「地図のやくそく(2)」（地図帳12ページ）を見て、取組シートやノート
にまとめよう。

(1) つぎの場所の地図記号を調べて、書いてみよう。

①田 ②畑 ③果樹園 ④温泉 ⑤橋

※何も見ないで書けるようになったらすごいですね。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・可能であれば、親子で地図記号をクイズにして答え合うと、子どもは楽しみながら地図記号を覚えることができます。
- ・索引の引き方は、一度に覚えることは難しいので、繰り返し使うことを認め、励ましてください。

※地図帳P11、P106のQRコードも、可能であればぜひ御活用ください。

【社会】しりょう「札幌市ってこんなまち」

第1章・札幌市を知ろう!

まずはじめに、「札幌市」についてくわしく勉強しましょう。
北海道の他のまちや他の県とくらべて、「札幌市にはどんななまちがあるのか」
「どんな特長があるのか」いろいろなデータをもとに考えましょう!

1 札幌市ってこんなまち

私たちが住むまちは、100の区に分かれています。
みなさんは自分の住んでいる区や、他の区について、どのくらい知っていますか？
ここでは市全体の広さや人口、そして10区それぞれのくわしい情報を学習しましょう。

札幌市の面積は…約1,121㎢
※1㎢は100万㎡です。
※1㎢は100万㎡です。

札幌市の人口は…約197万人
※1万人は10,000人です。
※1万人は10,000人です。

札幌市の面積は…約6m
※1mは100cmです。
※1mは100cmです。

中央区
中央区の面積は…約46㎢
中央区の人口は…約244,600人

北区
北区の面積は…約64㎢
北区の人口は…約288,200人

東区
東区の面積は…約57㎢
東区の人口は…約264,200人

白石区
白石区は面積は…約34㎢
白石区の人口は…約212,000人

厚別区
厚別区は面積は…約24㎢
厚別区の人口は…約126,000人

手稲区
手稲区は面積は…約57㎢
手稲区の人口は…約141,800人

西区
西区は面積は…約75㎢
西区の人口は…約217,400人

南区
南区は面積は…約67㎢
南区の人口は…約137,600人

清田区
清田区は面積は…約60㎢
清田区の人口は…約114,600人

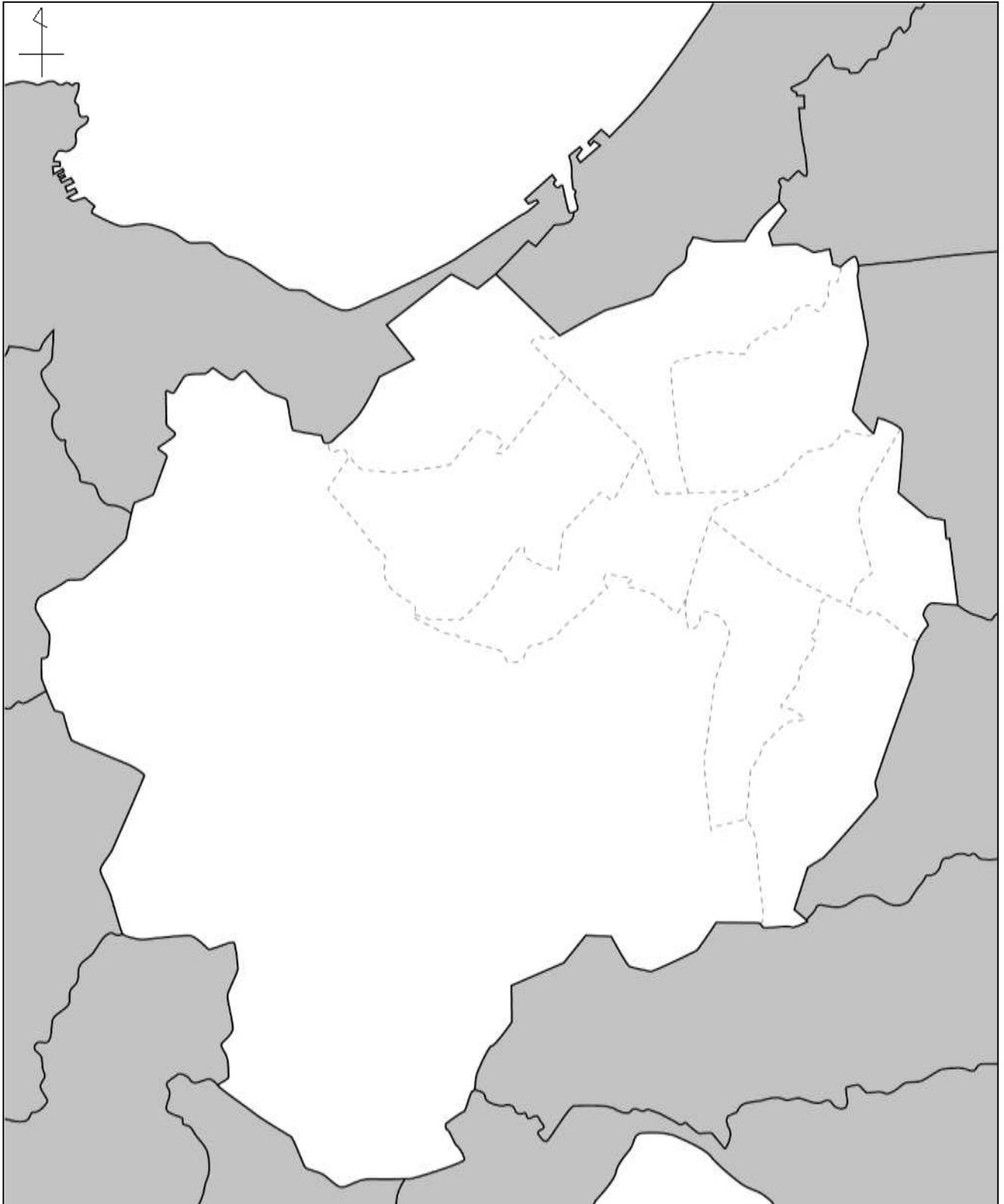
手塚区
手塚区は面積は…約46㎢
手塚区の人口は…約222,800人

自分の役を「区」のことでとって、まわりのことをまもろう!

「区」のことで、いろいろなまちがあるんだよ!

さっぽろし
白地図（札幌市）

名前



【算数】

「※」は学習するときのアドバイスです。

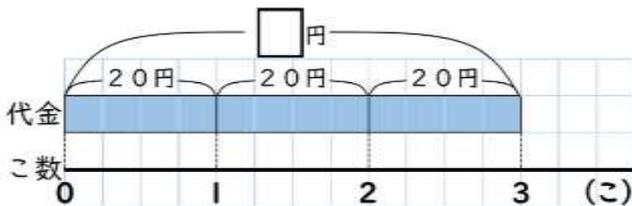
＜^{がくしゅうないよう}学習内容＞

◆何十、何百のかけ算（^{きょうかしよ}教科書17ページ）

「何十×何」は、どうやって計算すればよいかな？

「30×5」、「40×2」のように、大きな数のかけ算にちょうせん！

- (1) 右のような図は「テープ図」といって、式を立てるときのヒントになるよ。教科書をお手本にして、ノートにうつしてみよう。



※マス目もそのままマネしよう！

- (2) 式をノートに書こう。その式になる理ゆうを、図をつかって考えよう。
 ※テープ図の□のところは、もんだいで聞かれているところだよ。
 ※「○○が△こ」…これって何算だったかな？
- (3) はるさんの図をノートにかいて、答えが何円かをたしかめよう。
- (4) 式と答えを見て、何か気付いたきまりはないかな？ノートに書こう。
 ※はるさんやぐりちゃん、150 ページ「算数のミカタ」がヒントだよ！
- (5) 今回の学習をつかえば、きっと「何百」のかけ算もできるよ！
 「200×3」はいくつかな？式と答えをノートに書こう。
 ※さっきのもんだいとどのちがいはどこかな？

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆何十、何百のかけ算（教科書 p17）

- ・ここで登場する「テープ図」は、後の数直線につながります。数直線は、式を立てる上で高学年でも重要な表現方法です。図をかく経験、図と式が結び付いていることを子どもが実感できることが大切です。
- ・数をまとまりで捉えることが苦手な子もいます。困っている時は、硬貨を使うことも有効です。10や100のまとまり、その(2×3)個分で計算できることを視覚的に理解する助けになることが期待できます。

【理科】

<学習内容>

◆教科書「たねをまこう」（教科書14～16ページ）を見て、いろいろな植物のたねと花、実について考えましょう。

①教科書15ページのハウセンカ、ヒマワリ、オクラ、ピーマンのたねは、教科書14ページの4つのたねのどれかを、よそうしましょう。

②ハウセンカ、ヒマワリ、オクラ、ピーマンのたねについて、教科書16ページの絵をみて、じっさいの大きさをじょうぎではかったり、教科書17ページの写真をみて、色や形を調べたりしたことを、取組シートやノートに書きましょう。

※教科書17ページの記録カードのように書けるかな。

③たねをまいたら、どのように育つかをよそうして、取組シートやノートに書きましょう。

※1年生でアサガオを育てたとき、どのように育ったかな。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、植物による種の色や形、大きさの違いに気付くことを大切にしています。
- ・「たねの色や形の違いをよく見てみよう」「たねをまくと、どのように大きくなるかな」など、植物のたねをまくことに意欲がもてるよう声をかけてあげてください。